

本日の報告事項と 前回協議会のふり返り

令和5年度日高市地域公共交通協議会 第1回交通戦略部会
2024年2月9日 @日高市役所



本日の報告事項

- 報告① 市民アンケート調査結果報告（資料2）
- 報告② 市内地域公共交通等の実態（資料3）
- 報告③ 日高市の地域公共交通の課題と今後の施策事業の方向性（資料4）
- 報告④ 高齢者等おでかけ支援事業の見直しについて（資料5）

特に議論いただきたい事項

報告① 市民アンケート調査結果報告

報告② 市内地域公共交通等の実態

- 地域公共交通の課題を整理していく上で必要な視点や分析について

報告③ 日高市の地域公共交通の課題と今後の施策事業の方向性

- 課題の内容、捉え方について
- 今後の施策事業の方向性を検討する上で考慮が必要な事項について

報告④ 高齢者等おでかけ支援事業の見直しについて

- 見直しに当たっての意見・留意すべき事項について

第1回協議会の振り返り（主な意見）

施策事業の方向性に関する事項

- 高齢者、妊産婦、子ども連れ等、移動で困っている方にとって使いやすく、かつ持続的な移動手段の確保が必要ではないか。
- 他地域の事例も参考にしつつ、日高市の地域特性に適した、身の丈に合った最適な移動手段を確保すべきではないか。
- 病院の送迎など、地域の輸送資源を活用することも考えるべきではないか。
- 通院以外の様々な外出についても促進していくべきではないか。
- タクシーと鉄道・バスを組合せた移動方法を検討すべきではないか。

交通事業者の実情に関する事項

- 市内バス路線は大幅な赤字であり、交通事業者は他事業の黒字分を路線バス事業に充てる「内部補填」により身を切りながら日々の運行を行っている。
- タクシードライバーの不足と高齢化が進んでいる。
- 地域おたすけ隊、福祉有償運送、ファミリーサポートセンター事業等については、担い手の不足や高齢化が課題になっている。

施策事業の検討に当たり留意すべき事項

- 新しい交通を検討するに当たり、過去の市内循環バスの廃止の経緯を振り返るべきではないか。
- 鉄道事業者の声も聴くべきではないか。
- 新しい交通の導入と、今ある公共交通をいかに維持していくかを両輪で議論すべきではないか。